

令和8年1月19日

福井市農林水産部林業水産課

## 第2次福井市森林整備・林業成長産業化推進プラン（素案） に関する福井市パブリック・コメント募集の結果

### 【概要】

暮らしを支える森林づくりと稼げる林業を推進するため、令和8年度から令和12年度までを期間とする「第2次福井市森林整備・林業成長産業化推進プラン」の素案を作成しました。

本素案に関するパブリック・コメントを実施しましたところ、市民の皆様から以下のご意見を賜りましたので、それに対する市としての考え方を示し、公表します。

### 【意見募集結果】

実施時期	令和7年12月1日から12月26日まで	
意見提出状況	提出者	1人
	意見数	8件
意見提出方法	書面の持参	0人
	郵便	0人
	ファクシミリ	0人
	電子メール	1人
	電子申請	0人

### 【提出された意見及び意見に対する市の考え方】

#### 項目1 計画全体について（2件）

	提出された意見	意見に対する市の考え方
1	計画では森林整備の基準等が詳細に示されている一方、施策部分は抽象的に感じられ、具体的な取組イメージが分かりにくい。 事業事例などを示すことで、施策の理解が進むのではないか。	本計画は、森林・林業・木材産業施策の基本的な方向性や基準を示すことを目的として設定しています。 具体的な事業内容については、今後の施策運用の中で対応していきます。
2	獣害対策や人手不足など、森林・林業・木材産業を取り巻く課題は複合的であり、単一部局では対応が難しい。所感を超えた連携をより意識した施策展開が必要ではないか。	森林・林業・木材産業の推進に当たっては、関係部局や関係機関との連携が重要であると認識しています。 本計画においても、獣害対策や担い手の育成などに関する取組について、関係部局や県、関係機関と連携しながら進めることを位置付けています。

項目2 基本方針1 持続可能な森林づくりによる山の多面的価値の創出（2件）

	提出された意見	意見に対する市の考え方
1	木質バイオマスの活用について、計画上の記載は限定的であり、主伐・間伐で発生する資源の利用先が十分に示されていないのではないか	木質バイオマスの利用については、本計画において、再生可能な森林資源の有効利用の1つとして位置付けています。具体的な利用方法については、関係施策の中で検討していきます。
2	獣害問題は森林整備だけでは解決が難しく、山間地の居住や産業維持に大きな影響を与える課題である。林業行政として、解決策を社会全体で模索する姿勢を示す必要があるのではないか。	獣害問題は、森林整備のみならず、地域の生活や産業に関わる重要な課題であると認識しています。関係部局や県、関係機関と連携を図りながら、総合的な対策に取り組んでいきます。

項目3 基本方針2 次世代を担う人づくりの推進（1件）

	提出された意見	意見に対する市の考え方
1	「稼げる林業」を進める上で、最大の課題は担い手の確保ではないか。若者層の自然回帰を前提とした考え方に限界がある。	担い手の確保は、本計画においても重要な課題として位置付けています。就業環境の改善や人材育成に関する取組については、本計画に基づき、関係機関と連携しながら進めています。

項目4 基本方針3 稼げる林業の確立と山村の再生について（2件）

	提出された意見	意見に対する市の考え方
1	林業から製材・流通までを市内で完結させることは限界があり、域外も視野に入れた広域的な連携が重要ではないか。	木材の利用や流通については、広域的な視点が重要であると認識しています。本計画では、県や関係機関と連携し、県産材・市産材の利用促進や安定供給に向けた取組を進めています。
2	林業に加え、輸送や製材などの周辺分野でも人手不足等が課題となっている。必要に応じて新たな技術や仕組みも手段の一つとして活用し、効率的に図ってはどうか。	人手不足等が森林・林業・木材産業だけでなく周辺分野にも影響する点は認識しています。本計画では、スマート林業機械の導入や森林・林業・木材産業のICT化を進め、作業効率と安全性の向上を図っています。

項目5 プランの推進体制について（1件）

	提出された意見	意見に対する市の考え方
1	社会情勢が変化する中で、5年計画が柔軟に対応できるか疑問がある。目標設定だけでなく、取組姿勢を示すことが重要でないか。	本計画は、現時点の社会情勢や制度を踏まえて策定します。施策の実施に当たっては、国や県の制度改革や社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じて変更しながら対応していきます。